

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称		良好な生活環境の確保															
計画の期間		平成27年度 ～ 平成29年度					交付対象		伊豆の国市								
計画の目標		汚水 : 安全で快適な都市環境の整備を実現するため、老朽化施設の改築等を行い、適正な維持管理及び機能の向上を図る。															
計画の成果目標 (定量的指標)		汚水 : 人間の活動と自然の環境システムを健全に保つため、下水道処理人口普及率を67.1% (H27当初) から68.0% (H29末) に増加する。															
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考						
① 下水道処理人口普及率 (%) = 処理区域の人口 (人) / 行政人口 : 住民基本台帳 (人) × 100 (目標)								当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H29末)	実施状況 行政人口   処理人口 H27 49,787   33,386 67.1% H28 49,353   33,505 67.9% H29 49,082   33,589 68.4% (人)						
								67.1%	67.5%	68.0%							
②																	
③																	
全体事業費		合計 (A+B+C)	181 百万円	A	181 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%						
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制								事後評価の実施時期									
伊豆の国市社会資本整備計画事後評価委員会により評価を実施。								令和 2年 3月 公表の方法 評価完了後、市のホームページに掲載									
事後評価																	
1. 交付対象事業の進捗状況 (○: 計画期間中に完成 △: 計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入) - : その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等))																	
交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H27	H28	H29				
1-A1-1	下水道	一般	伊豆の国市	直接	伊豆の国市	汚水	新設	長岡地区管渠整備 (未普及解消)	管路φ200mm L=900m	伊豆の国市					138	○	
1-A1-5	下水道	一般	伊豆の国市	直接	伊豆の国市	汚水	新設	計画策定 (効率的汚水処理整備計画策定)	アクションプラン策定 1式	伊豆の国市					6	○	
1-A1-7	下水道	一般	伊豆の国市	直接	伊豆の国市	汚水	新設	計画策定 (官民連携事業に伴う計画策定)	事業計画変更業務 1式ほか	伊豆の国市					37	○	
合計											181						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
										H27	H28	H29					
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	進捗状況	備考
										H27	H28	H29					
合計														0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。  
 (参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業  
 (別添「事業実施計画」参照)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		都市の健全な発達と公衆衛生の向上に寄与し、合わせて公共用水域の水質の保全に資することを目的に、計画的かつ効率的に下水道整備ができた。市民の日常生活の中で、安全・安心を実感し、将来にわたり、快適に暮らせるまちづくりを進めることができた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道処理人口普及率）	最終目標値	68.0%	目標値と実績値に差が出た要因	前期計画において浸水対策として雨水対策事業を優先したため、汚水管渠整備の計画を下方修正したことで最終目標値に達することができた。 目標値の算出：33,730人（処理人口） ÷ 49,600人（行政人口） × 100 = 68.0% 実績値の算出：33,589人（処理人口） ÷ 49,082人（行政人口） × 100 = 68.4%
		最終実績値	68.4%		
	指標②（ ）	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
	指標③（ ）	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		・各種計画策定、計画変更を実施したことで汚水処理施設整備の10年概成を目指すための基礎資料等がまとまり、今後の下水道整備事業の展開が期待できる。			

3. 特記事項（今後の方針等）  
 今後も引き続き、計画的かつ効率的な汚水管渠の整備を進め、市民が安全・安心を実感できる良好な生活環境を確保できるよう、都市の健全な発達と公共用水域の水質保全も併せて寄与していく。また、下水道未普及地域の整備については、重点計画として別事業で進捗を図る。

(様式6) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

計画の名称	良好な生活環境の確保		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成29年度 (3年間)	交付対象	静岡県伊豆の国市

